

『2020年度東北学院大学外部評価報告書』を受けて

東北学院大学は、教育・研究水準の向上及び組織の活性化等に資する評価を学外の第三者から得るために、「東北学院大学外部評価委員会規程」を定め、2010年度から外部評価を実施してまいりました。

この規程に基づき、2019年度から2021年度までを第4期外部評価期間とし、東北大学高度教養教育・学生支援機構杉本和弘教授を委員長としてスタートし、2020年度はその2年目となります。

第4期外部評価委員会は、文部科学省中央教育審議会において「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」（2018年11月26日）が提示されことに伴い「教学マネジメント」に係る指針の策定や学修成果の可視化に向けた動きが強まっていることから、本学における「教学マネジメント」の運用体制を外部評価の対象としております。

2020年度外部評価においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受けて、これまで対面で実施してきた外部評価委員会の開催方法を変更いたしました。そのため、2020年度外部評価委員会では「遠隔型授業の実施を中心とした本学の修学支援について」、「東北学院大学アーバンキャンパス計画について」の2つの観点に関する質問及び意見をあらかじめ提出いただいた上で、第1回外部評価委員会にて関係部署による回答を示すとともに話し合いを持つことといたしました。

外部評価委員会委員の皆様には、本学の遠隔型授業の実施状況とそれに伴う修学支援の状況、2023年度のアーバンキャンパス計画に対する本学への期待と要望について忌憚のないご意見を頂戴することができました。

その結果は、『2020年度東北学院大学外部評価報告書』としてまとめられ、2021年3月19日開催の第2回外部評価委員会において提出していただきました。本報告書の作成にあたり、外部評価委員会の皆さまには多大なるご尽力をいただきました。あらためて委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。このたび提出された『2020年度東北学院大学外部評価報告書』は、広く学内外に公表させていただくことといたします。

『2020年度東北学院大学外部評価報告書』にてお示し頂いた評価及び意見を真摯に受け止め、「東北学院大学らしく一人の学生も迷うことなく」、教育改善が必要となるようなご指摘には迅速に対応して参ります。

2021年3月19日

学長 大西 晴樹
点検・評価担当副学長 中沢 正利